

平成30年度

# 感想文集



となみ野ベースボールクラブ

## 発行にあたって

このとなみ野ベースボールクラブは、前身のとなみ野硬式野球クラブから数えて17年目を迎え、今年も中学3年生31名、中学2年生2名、総勢33名で活動して参りました。

今年の夏は異常気象による酷暑で、選手たちの健康管理・安全管理にこれまで以上に配慮しながらの活動でしたが、選手諸君の将来に向かって頑張っている暑さをもろともしない姿には、野球への情熱を感じます。

また、当クラブは、これまで622名のクラブ員を輩出し、高校・大学で甲子園・神宮を目指す者、プロを目指す者、あるいは社会人となって働きながら野球を楽しむ愛好者たちが巣立っており、当クラブの活動が地域の野球振興やクラブ員の人間形成に大きく寄与していると評価を戴いているところです。これもひとえに、学校、保護者、地域の方々のご理解とご協力の賜物であり心から感謝申し上げます。

さて、当クラブでは、クラブ員たちが活動の中で感じた、様々なことをまとめて感想文集を作成し、毎年関係各位に配布しています。また、巣立ったクラブ員が将来この感想文を読み返したときに自らの人生の一助となれば幸いだと思っています。

終りになりますが、野球を通して青少年の野球技術の向上と人間形成を基本方針として更に充実した活動を行うこととお誓い申し上げ、これからも微力ながら砺波地区の野球の振興に貢献できればと考えています。

今後とも格段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、発行にあたってのご挨拶といたします。

平成30年12月吉日

となみ野ベースボールクラブ

会長 武田 慎一

## 県硬式で学んだこと

出町中学校 3年 北村 隼規

県硬式で僕はたくさん学ぶことができました。例えば、中学校では習うことがなかった守備の応用や、グローブやバッドなどの道具の大切さ、今までの能力を最大限に活かすことができるようなプレーの仕方などたくさんの方のアドバイスを教わりました。

その一方で僕は、野球をやめようと思ったこともありました。しかし、コーチの方や一緒に野球をやってきた友達に「一緒に頑張ろう。野球楽しいぞ。」などの励ましの言葉を頂きました。そこで、友達の大切さを改めて感じました。

このような経験があったからこそ、今の自分があるのだと思います。僕は、楽しい時や嬉しい時には一緒に笑い、辛い時には励ますことのできる人になりたいです。時には辛いこともあるかもしれないけれど、忍耐強く野球をこれからも続け、周囲の人たちに野球の楽しさをたくさん伝えていきたいと思っています。

約4ヶ月間という短い期間でしたが、指導者の方々には色々とお世話になりました。本当にありがとうございました。

## となみ野ベースボールクラブ

出町中学校 3年 宮野 莉玖

僕は、となみ野ベースボールで、たくさんの方のアドバイスを学びました。

バッティングでは、僕は打つときにあまり腰が回っていませんでしたので内側から脇をしめ、絞り出すように振ると腰の回転が早くなって、打てることが多くなったのでよかったです。あとバットを最後まで振り切ることも大切だと思いました。

守備のことでは、僕は後ろに行ったボールを取ることが苦手でした。けれども、半身になって取るとボールが取りやすくなると教えていただいたので、やってみると取りやすかったです。

あとは、僕は、強くボールを投げるのがあまりできなかったけど、ボールを取ってステップをしてから投げると強い球が投げることができることを学びました。少しでも強い球が投げることができてよかったです。

僕は、小学生の時から野球をしてきました。いままで教えていただいた事を忘れずにしていきたいと思っています。

## となみ野ベースボールクラブに入って

出町中学校 3年 馬場 泰希

僕は、このクラブに入って学んだことが2つあります。

1つ目は、野球の楽しさです。僕は、はじめこのクラブに入るつもりではありませんでした。しかし、部活を引退して野球をしない期間があり野球をしたいという気持ちになりました。少しの間このクラブで活動し自分の普段気づけないことや野球についてなどたくさんの方のアドバイスを学ぶことが出来ました。

2つ目は、競い合うということです。中学校の部活では人数も多くなくポジション争いというものはありませんでした。しかし、このクラブは、人数も多く上手い人も沢山います。努力をしないとすぐに差をつけられてしまうので家でも素振りや筋トレなどに励みました。

今まで敵だった人達と一緒に野球をし、学ぶことが沢山ありました。みんな野球をしている時は真剣ですが普段は面白くてとても楽しかったです。高校では離れ離れになりますがこのクラブの経験を生かして頑張りたいと思います。

#### 自分が得た経験

出町中学校 3年 中野 和生

僕は、となみのベースボールクラブに参加して、貴重な体験をすることができました。多くの事を学ぶことができましたが、その中でも特に、2つのことが印象に残っています。

1つめは、努力の大切さです。クラブの活動の中で、改めて努力することの大切さを実感できました。例えば、何もせずにただ失敗ばかりを繰り返していても、自分の成長にはつながりません。しかし、努力をして結果が出なかった場合なら、それが経験となり、次につなげていくチャンスになっていくと思います。自分はクラブの中では下手なほうだったので、なかなか結果が出ないときもありました。それでも、練習や試合の中で得た経験は、必ず次に生かせると思います。

2つめは、自分を見つめ直すことの必要性です。練習の中で、僕はコーチから様々な指導を受けました。そのほとんどは、僕の癖を矯正するためのものだったと思います。癖は、簡単には直りません。だからこそ、自分の悪い癖を知り、改善していくための努力が必要だと感じました。

今まで指導していただいたコーチの皆様、そしてチームメイトの皆さん、本当にありがとうございました。この経験を糧に、高校でも野球を頑張りたいと思います。

#### 県硬式での活動を通して

出町中学校 3年 長田 向陽

僕は初め、となみ野ベースボールクラブに入部することがとても不安でした。そのわけは、中学軟式の時から肘を痛めていて、続けていけるかどうかや自分の実力が通用するか分からなかったからです。しかし中学軟式の外部コーチや過去に県硬式に所属していた経験者の方にお話を聞いて、となみ野ベースボールクラブに入部することを決意しました。

実際に入部すると真夏の暑い中、倒れる人もいるくらいのハードな練習が待っていました。しかし、それも日を追うごとに「苦しさ」から「楽しさ」に変わりました。それも指導者の方々の暖かい指導のおかげだと思っています。教わったことの多くは中学軟式で教わらなかったことで、高校でも通用する野球の一部を身に付けることができたと思うし、中学軟式では敵同士だった他校の選手と一緒にプレーすることができて良かったです。

県硬式での活動を通して、技術だけではなく精神的にも成長できたと思います。

また、チームメイトや指導者の方々と一緒に野球をすることで野球は個人スポーツではなく集団スポーツだということを再認識することができました。最初は入部することが不安だった県硬式も今では本当に入部して良かったなと思っています。

#### となみ野ベースボールクラブに入って

町中学校 3年 飛田 慎斗

僕は、となみ野ベースボールクラブに入ってとてもいい経験をさせてもらいました。

最初の頃は「練習きついかな～」など心配ばかりしていました。でも、練習をしていくうちにその心配はなくなっていきました。そこで、クラブのみんなと知り合い、どんどん仲が深まっていきました。

した。仲よくなったけど、そのみんなはライバルになりました。やっぱり僕より上手い人は沢山いました。その人達にも勝つために色々としてきました。それでも勝てませんでした。

そして、試合が始まっていきました。最初の頃はスタメンではなかったけど僕を使ってくれました。でも、結果を残すことはできませんでした。それでも何回も使ってもらって結果が出た時もありました。

投手ではいいピッチングが出来た時もあったけど悪かった時もありました。それでチームにはとても迷惑をかけてしまいました。もう少し努力をすればよかったと思いました。なのでこのクラブで学んだ技術などをいかして高校ではしっかり努力していきたいと思いました。

教えてくれたコーチや支えてくれた親には感謝したいと思いました。

#### となみ野ベースボールクラブに入って

庄西中学校 3年 松澤 和輝

僕がとなみ野ベースボールクラブに入ったのは、野球がしたかったからです。

僕は、2年生の1学期に庄西中学校野球部を退部しました。その後、放送部に転部しましたが、学校生活が楽しくなくなりました。

そんな僕を見て、母が宮下君のお母さんから、となみ野ベースボールクラブの事を聞き、僕にすすめてくれました。

最初の練習の時、とても緊張していました。他の人たちは、何人かはすでに顔見知りのようでしたが、僕は庄西中学校の人たちしか知らなかったからです。でも、思いのほか、みんな明るく気軽に話しかけてきてくれました。

真夏の練習では、とても暑い中での練習で、とてもつらかったです。暑さのあまり、帰っていく人も何人かいて、大丈夫かと心配しました。でも、久しぶりにやる野球は、やっぱり楽しかったです。

僕は、ファーストとピッチャーを希望していました。1年以上野球をしていなかった僕は素人同然で、足のスタンスは六歩や、投げたあとに左足の先が開いてしまわない等、知らない事もありましたが、北村監督は細かいところまで教えてくれました。

母がすすめてくれなかったら、今も学校が楽しくなく、反抗していたと思います。いつも口うるさくて、うざいと思ってしまいますが、母のおかげだと思っています。自分はやっぱり野球が好きなんだと改めて思いました。

まだ、どの高校へ行くかわかりませんが、高校へ行っても、出来る限り続けたいと思っています。となみ野ベースボールクラブで野球が出来て、自分がほんの少し成長できたと思います。

こんな僕を根気強く指導して下さった監督、コーチのおかげです。

ありがとうございました。

#### となみ野ベースボールクラブで出会った仲間

庄西中学校 3年 宮下 元颯

となみ野ベースボールクラブに入って、沢山の仲間に出会いました。

僕は、今まで軟式野球をしていましたが、クラブチームに入ってボールが硬式ボールに代わり不安なことがありました。そして、色んな中学校から沢山の人が集まり初めて出会う人もいたので、二つの不安がありました。そんな不安も、一ヶ月経てば無くなっていました。すぐに、みんなと仲良くなり、硬式ボールにも慣れていきました。中学校では学べなかったことを監督、コーチ陣の方々に教わることができました。

その中で、コーチ陣の方々には、いつも優しく指導して下さいました。途中なかなか結果が出ない中、自分をクリーンナップで使い続けて下さったコーチ陣の方々には、すごく感謝しています。

楽しい時も、辛い時も一緒にいたのは、仲間だったので、これから歩いていく道は違っても、元チームメイトとして、そして良きライバルとして高校へ進んでもお互い頑張っていきたいです。

これまで、沢山のことを教えて下さった監督、コーチの方々、となみ野ベースボールクラブに関わって下さった全ての人に感謝したいです。

#### となみ野ベースボールクラブに入って

庄西中学校 3年 附木 優太

となみ野ベースボールクラブに参加して一番初めに思った事は、軟式野球から硬式野球に変わって不安で精一杯プレー出来るかわからず不安だった僕にコーチの皆さんが優しく接して頂き、僕はとても勇気を頂きました。

最初の頃の練習では、基礎から始めてとても大変でしたが、それでも一生懸命に取り組みました。硬式ボールは軟式ボールと違って、ボールの跳ね方や打球の飛んでくるスピードが、いままでとは全く違う感覚でとても怖かったですが、練習を積み重ねていくうちに硬式ボールに慣れていくことが出来ました。

練習試合では、はじめの頃はセンターとして試合に使って頂いてとても嬉しかったです。しかし、レフトに代わってからは、なかなか試合に出る機会は少なかったですが、試合に出られたときにファインプレーや、難しい打球を処理してほめていただいた時は、とても嬉しかったです。

バッティングでは、ヒットを打って点数が入った時に「よくやった」と言ってくださり、とても嬉しかったです。公式戦では、あまりヒットを打てず結果を残すことが出来ませんでした。守備ではしっかり守る事が出来たのでとても良かったです。

短い間でしたが、とても貴重な体験をさせて頂きました。バッティングの打ち方や、ボールの投げ方がすこし変な癖がついている僕に、わかりやすく少しずつ教えてくださりありがとうございました。入団した時よりも上手くなれたので、指導者の皆様にはとても感謝しています。それに、一日練習時や試合の時に弁当を作ってくれたり、送迎、応援をしてくれた両親や今までの野球に携わってきた皆様に感謝しています。

いままでありがとうございました。

#### 追伸

いい感じにイジッて頂いたコーチの皆さんありがとうございました。

#### となみ野ベースボールクラブで成長したこと

般若中学校 3年 島田 太陽

最初の頃は、硬式に恐怖心があり守備でも打撃でも結果が出せず、練習試合ではスタメンからも外され、とても悔しく思いました。兄からも「お前、背番号4のくせにスタメンになれんで悔しくないか。」「このままやったら高校行ってもレギュラーになれんぞ。意地でもレギュラーになってみろよ」と言われ何とも屈辱的でした。指導者の方に「自分を前面に出しアピールしたらいい」とアドバイスをいただき気持ちを切り替えることが出来ました。チームの為に自分の役割を考え、とにかくベンチワークを頑張りました。与えられたチャンスは、結果を気にせず「積極的に」だけを意識しました。

公式戦が始まるとスタメンで起用されるようになり、結果も出ることで自信にもつながってきまし

た。打席では、相手のピッチャーに対し「絶対打ってやる」という強い気持ちをもてるようになりました。

自分の役割を考え、とにかく塁に出ることを常に意識しました。「ここ一番」に繋ぐことが出来るように、これまで指導者の方から教えていただいた事を振り返りながら練習していきます。

投手としては「打たせてアウトを取る」を意識し、コントロールに重点を置き取り組みました。あまり良い成績は残せませんでした。いろいろなバッターと勝負できる良い経験となりました。

守備では、捕手と一塁手以外の様々なポジションを守らせてもらいました。これまでほとんど内野しか経験しなかったため、外野を守ったときは新鮮でスリルがありました。

また、慰労会では予期せぬ「MVP賞」のバットを頂き嬉しかったです。そして、兄に自慢することが出来ました。でも、これに満足するのではなく、更なる努力でもっと成長したいです。

高校野球では、今より競争が激しくなりますが、これまでお世話になった指導者の方々や、あたたかく支えてくれた家族に「感謝」の気持ちを忘れず、今後の練習では、日々「思考」しながら「全力」で取り組んでいます。

7月に入部して技術面でも精神面でもとても成長できたなど実感しています。

高校に行って活躍することで恩返しをしたいです。

これまでご指導いただき、ありがとうございました。

#### 硬式野球で培ったこと

吉江中学校 3年 明尾 拓実

僕は、7月から11月の期間、となみ野ベースボールクラブで、硬式野球の活動をさせていただきました。中学校の部活動の軟式野球とは違い、硬式の球を使いました。最初、僕は硬式の球で、うまくやっていたかとても不安でした。しかし、やってみると意外とうまくできて、驚くと同時に硬式野球の楽しさも感じる事ができました。これも、裏で支えて下さった、コーチの方々のおかげだと思います。

また、硬式野球をする中で「仲間」とも出会うことができました。となみ野ベースボールクラブでは、砺波市と南砺市の野球部員が集められていました。これほどの規模の数で、本格的な練習をするのは、初めてだったので、少し緊張はしましたが、とても楽しんで野球に打ちこむことができました。4ヶ月間、きつかったことも、楽しく笑いあったことも、共有したこの仲間たちは、これから先も、大切にしていきたいです。

今、一緒に戦った仲間たちはそれぞれ別の道に歩き出そうとしています。しかし、日々努力したあの時は、揺らぎないものであり、最高のものだと思います。これから先、どんな苦難に当たるかわかりませんが、この硬式野球で培ったことを生かしていきたいです。

最後に、コーチ陣の皆様、出会えた仲間、そして、それを支えるすべての方々、この硬式野球をさせていただき、本当にありがとうございました。

#### となみ野ベースボールクラブに参加して

吉江中学校 3年 西川 航琉

僕は、このとなみ野ベースボールクラブで野球をしてとても多くのものを得ることができました。それは、多くの新たな友達や新しい野球の知識、技術などです。このようなものを得ることができたのは指導者の皆さんのおかげです。ありがとうございました。

中学の軟式野球が終わり初めて硬式ボールを握り、最初は硬さや手触りが軟式とは全然違うものでしっかりできるか心配でしたが、基礎から徹底的に教えて頂いたり、硬式ならではのボールの取り方や打ち方、守備位置まで教えて頂いたりしたので、高校野球に向けて大事な経験となりました。また休日にたくさん練習試合や紅白戦ができたので、直したい部分や頑張りたい部分を試し、また出てきた課題を見出すことができました。

硬式のピッチャーは、みんな球も速くコントロールもいいので、なかなか打てませんでしたが、試合中から「初球からどんどん打て」ということを徹底して言われてきたので実践のスピードボールや変化球に慣れることができたと思います。

この数か月間、練習はたくさんあるし大変だなと思ったこともあったけど、今はこのチームに入って野球ができて仲間が多くでき、楽しかったので良かったと思います。

これからもベースボールクラブで学んだことを生かして高校生活を送っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

### となみ野ベースボールクラブの3年間

吉江中学校 3年 小西 翔陽

僕は、このとなみ野ベースボールクラブに入って3年目になりました。この3年間は、高校野球で活躍できるための基礎的な技術を身につける大切な時間となりました。

中学に入った頃は、部活動があり試合にはほとんど出ることが出来ませんでした。しかし、今年の夏からは部活動も終わり本格的に硬式野球だけに集中することが出来るようになって試合にも多く出られるようになりました。1、2年生の時は硬球に慣れることや、体幹ストレッチ、筋力トレーニング等の体を作ること、下半身を強化することを目的に頑張っていました。3年生になって練習を重ねるごとに「どうしたらレギュラーになれるのか」と高い目標を持って取り組むようにしました。今までは先輩方もいて消極的なことも多くあったけれど、「自分から積極的に」と思うようにもなりました。

また、ライバルでもあり、手本にもなる、これからの自分の技術を向上させてくれる仲間がたくさん出来ました。この仲間の存在は自分にとってとても大切で大きな存在となりました。一緒にたくさん練習し協力しながら、競い合いながら頑張った日々はとても貴重でした。

一緒に練習をしたクラブの先輩が甲子園に出ていて目指す存在ともなっています。高校でも、より一層練習を重ね、技術を高めていきたいと思っています。自分自身、強い気持ちと高い目標を持って日々努力していきたいと思っています。

いつも、真剣にご指導くださった監督、コーチの皆さん、本当にありがとうございました。

### となみ野ベースボールクラブに入り

吉江中学校 3年 舘田 隼斗

僕は、あまり野球というものに触れたり一緒に遊んだりすることがありませんでした。しかし、そんな僕にも優しく接してくれたのはとても嬉しく頑張ろうという気持ちにさせてくれました。

しかし、僕よりも上手く三年間共に切磋琢磨してやってきた明尾君、西川君とはあまり仲良くやれず、

主に明尾君には馬鹿にされるのは当たり前でした。やっぱり上手い人には邪魔なのかなと困った時もありましたが吉江中以外の皆は優しくアドバイスをくれました。

やはり仲間と互いを高め合うことこそがチームプレーなのではないかと思いました。



野球の硬式の球は初めてで、最初はにげていました。でも、コーチ、仲間に教えて貰い未だ修正すべきところは沢山あるけれど前よりは断然上手くなっていて、自分でも驚いています。そのこと以外にも礼儀や言葉遣いなどを教わり、コーチの皆さんには感謝しかありません。

こんな僕ですが、丁寧に教えて頂き有難う御座いました。せっかく教えてもらったのに申し訳ないのですが、高校では就職を目指して頑張りたいので野球を離れたいと思います。7月から始まり、8. 9. 10. 11月と沢山教えて頂き有難う御座いました。これから全身全霊で何事にも全力で取り組んでいきたいと思っています。

今回学んだことを胸に刻み頑張っていきます。これからもよろしくお願いします。

#### 仲間と過ごした4ヶ月

福野中学校 3年 辻田 拓海

中学校の部活動で軟式野球部に所属していた僕は進学しても野球を続けたいと思ったのでこのクラブに参加しました。

部活動とクラブの活動は大きく違いました。

まず、驚いたことは人数の多さです。部活動では、4人同級生と、14人の後輩と活動していました。クラブは30人以上の大人数での活動です。初めての活動で集合したときの円の大きさに驚きました。

同じ中学校のメンバーがいないこともあり不安に感じました。

次にボールの違いです。軟式球と硬式球は大きく違うとは知っていましたが、触ってみると、その違いに驚きました。硬式球の方が重く感じ、しばらく投げ続けると肩に疲労がたまるように感じました。

環境の違いやボールの違いに、僕は、上手くやっていけるのだろうかと不安を覚えました。

そんなとき、支えてくれたのが仲間でした。不安そうにしていた僕に、話しかけてくれたのです。それからは、練習中には野球の話をするだけでなく、練習後には野球以外の話をできるまで打ちとけました。ボールにも少しずつ慣れていきました。

同じ地区の野球を愛する多くのメンバーと活動し、野球の技術だけでなく、協力してプレーするという野球の魅力を改めて感じました。

これからも野球を続け、一生懸命に取り組みたいです。

#### 硬式野球を体験して

福光中学校 3年 石本 哲正

初めて硬式ボールで野球をして、最初の頃は恐怖を感じました。しかし、共にサードでノックを受けた選手は、前に出る積極的な守備をしていました。その人も硬式初体験のはずなのに、明らかに自分よりも上手いと感じ、悔しい、そして負けられないと思いました。

もともと高校野球を始める前に一度硬式を体験しておきたいと思って参加しましたが、敵同士だった砺波地区の選手に刺激を受け、またマリナーズでは1番ショートを任せられ、チームの役に立ちたいという気持ちに変わりました。最初はミスも出て、三振や併殺が多かったりしたけれど、監督やコーチが言われたことをメモし意識していくことで、少しずつミスを少なくすることができました。中でも一番心に残っているのは、フライや空振りが多かった時に、逆方向を意識することと、1番バッターは出塁率が大事だと言われたことでした。ボールをよく見て引き付け打つようにすると、捉えた打球が増え、出塁率を上げることができました。

まだ、守備も思うように動けていないし、状況を考えてプレーすることもできていないと思います。ここで学んだプレーに加え、高校でも経験を積み重ね、甲子園を目指したいと思います。お忙しい中ご指導いただきありがとうございます。また、道具の手入れの大切さや、親に感謝することも教えていただき、その事も大切にしていきます。

### コミュニケーションの大切さ

福光中学校 3年 川口 敦也

僕は、となみ野ベースボールクラブに参加して学んだことがたくさんありますが、その中でも特に、コミュニケーションをとることの大切さを学ぶことができました。

練習初日は、初めて会う人や小学校の時から会っていなかった人もいて、とても緊張しました。初めのころは、練習では同じ中学校の人としか会話ができませんでした。声は出さないといけないと思いましたが、どのように声をかけていいのかわかりませんでした。結局その日は、コーチに言われたメニューをただするだけで、自分で考えて行動をすることができませんでした。2日目も同じように練習がありました。その日の練習の前半は、前日と同じように会話ができませんでした。しかし、後半になってくると、違う中学校の人から話かけてきてくれました。軟式野球の時の思い出や、学校生活のことを話しました。そこから自分から他校の人に話かけたり思いを伝えたりすることができるようになりました。

人とのコミュニケーションは難しいけど、勇気を出して話してみると、その分成長できることがわかりました。これからの人生でも、他人とコミュニケーションをとっていくことが大切になると思います。

次にこのような機会があれば、今度は自分から積極的にコミュニケーションをとっていこうと思います。技術面だけではなく人間性の部分まで成長できてよかったです。

### 硬式野球

城端中学校 3年 佐藤 颯哉

僕は、硬式野球に遅れて練習に参加することになりました。ですがみんなは、優しく接してくれました。監督やコーチの方々も遅れて参加する僕がひげめを感じることなくみんなと馴染めるようにしてくださいました。それで僕はとても楽しく練習に参加することができました。

僕が硬式野球で感じたことは、新しい仲間との距離感のとりかたです。近すぎるとやりにくいですが遠すぎるとコミュニケーションがとりにくいことが多いです。

僕たちは、この後高校受験が控えています。高校受験を乗り越えたら新しい環境に身をおくことになります。新しい環境に行っても硬式野球で体験した仲間とのコミュニケーションを生かしてクラスにとけ込みたいです。

技術面でも精神面でも硬式野球で大きく伸びることができました。この僕のことを大きく伸ばしてくれた硬式野球は高校生活では、3年間ないぐらいしかありません。これからは特に野球を大切にしていきたいと思います。

### となみのベースボールクラブに入って

城端中学校 3年 坂次 一寿

僕は、となみのベースボールクラブに入ってたくさんを経験させてもらいました。

特に強く印象に残っているのは、高岡クラブとの公式戦で4点という大きなリードを持ちながらも最終回に連打をくらいサヨナラ負けをしたことです。どうしてもアウトを取れず、完全に相手にのまれてそのまま負けてしまいました。

正直その試合のあとは今まで何をしてきたんだろう、何がしくて野球をしているんだろう、と自分を責め、野球が嫌になりました。しかし、チームメイトが「昨日いいピッチングしたからそのツケが回ってきたんや。」と笑いながら声をかけてくれたり、指導者の方々が「今こんな経験が出来て良かったよ。」と励ましてくださったりしたおかげで立ち直ることが出来ました。

硬式に行くのをもう辞めようと考えたこともありましたが、最後まで通い続けられたのは優しくて面白い指導者の方々や、個性があっていつも明るいチームメイト達がいたからだと思います。苦しいこともありましたがその分いい経験がたくさんできたし、最後には笑顔で終わることが出来て良かったです。

となみのベースボールクラブに入っていたことを誇りに思い、ここで学んだたくさんのことを将来に活かしていきたいです。

#### となみ野ベースボールクラブに参加して

城端中学校 3年 松永 瞬音

となみ野ベースボールクラブに参加して、基礎から教えて頂いたおかげで慣れない硬式でしたがしっかりと対応することができました。そして、高校への準備をすることが出来ました。中学校のときに教わらなかったことも学ぶことができ中学のときよりも、さらに成長することが出来ました。技術的なことと精神的なことも教わりました。練習への気持ちの部分での取り組み方として課題をもって取り組む姿勢と、良い入力をしてそれを出力として出すことを学びました。そのおかげで、試合でも練習でしてきたことをしっかりと出すことができ、自信をもってプレーをしました。

そして、一つ一つの試合がとても楽しくすることができ、野球の楽しさを味わうことが出来ました。平日の練習では、バッティングで悩んでいるときには細かく指導してもらうことで調子を取り戻すことができ、特に走塁では高いレベルの走塁を学ぶことが出来ました。多くの実践の走塁練習で、ランナーの時だけでなく、ランナーコーチの時の練習をすることで試合でも教わった走塁をすることを意識して、一点でも多く取れるようにしました。

となみ野ベースボールクラブで多くの仲間達や他のクラブの選手達から刺激を受けることが多くありました。そのような高いレベルで野球をするために協力してもらった指導者の方々や保護者に感謝したいです。

短い間でしたが内容の濃い時間でした。ありがとうございました。

#### となみのベースボールクラブに入って学んだこと

城端中学校 3年 南 大輔

となみのベースボールに入って最初は、暑い日々で、日差しが強くしんどかったです。でも、みんな熱心に練習をしていて、僕もみんなに負けられないように体調管理を整えてついていくことが出来ました。

練習のノックでは、後ろのフライキャッチからの返球の練習を行って、マリナーズとヤンキースに分けての紅白戦では、僕は、ランナーコーチやバッティングの勉強ができたと思います。試合では、ヒットを打ったりフライを取ったりすることができ、硬式のボールに慣れました。

夏休みが終わると公式戦がはじまり、他のチームの選手がたくさんいて、ライバルがいることが、分かりました。

ヤンキースやマリナーズも負けない気持ちが入っていました。僕も、他の人たちに負けないくらい頑張ることができたと思います。

決勝へは上がれませんでした。みんな、精一杯頑張っていたのが伝わり、僕も負けて悔しかったけど公式戦に出れた経験ができてよかったです。

このクラブに入ったことで、高校の野球でも頑張れる自身がつきました。みんなの役に立てる選手を目指します。

色々教えていただいて、ありがとうございます。

#### となみ野ベースボールクラブに入って

城端中学校 3年 田辺 大貴

となみ野ベースボールクラブに入って、最初は硬式の野球もわからないし知らない人がたくさんいて、不安ばかりでした。ですが、わかりやすく教えてくださるコーチや、話しかけてくれる友達のおかげで4か月間楽しくやることができました。

硬式の野球が中学校の野球とはボールも守備位置も違うのでわからないことばかりでしたが、具体的に教えてくださったり体で表したりしてコーチがわかりやすく教えてくださったおかげで、高校と同じ野球の仕方を学ぶいい経験をすることができました。また、試合ではたくさん失敗をしてもアドバイスをしてくださり全力でプレーをすることができました。

このチームに来たときは、全然なじむことができななかったけどメンバーが優しく話しかけてくれて、とても楽しくいることができました。試合では、たくさん迷惑をかけてもチームのメンバーが励ましてくれて居心地がだんだん良くなってきました。

4か月間となみ野ベースボールクラブに入って、たくさん学ぶことができました。硬式の野球の仕方や声をかけて助け合う大切さなど技術の面でも心の面でも学ぶことができました。高校へ行っても野球を続けるつもりなので、となみ野ベースボールクラブにはいい経験をさせていただいたなと思いました。

#### となみ野ベースボールクラブで学んだこと

城端中学校 3年 猪谷 心人

僕がとなみ野ベースボールクラブに入ったばかりのころは、知らない人がたくさんいるところで上手くやっけていけるのか、自分の実力で通用するのかなど、いろいろなことを考え、とても不安でした。また、ほとんど触ったことのない「硬式ボール」を使うので、投げるときの違和感やバウンドの違い、打つときの感覚の違いなどがあって、今まで約9年間使ってきた軟式ボールから硬式ボールへ慣れるまでとても時間がかかり、自分が思っているような動きができず、結果も中々ついてきませんでした。ですが、練習を重ねるにつれて、硬式ボールに少しずつ慣れていったり、肩が強くなったり、そして、仲間やコーチの方々など、たくさんの人と仲良くなることができ、となみ野ベースボールクラブに行き野球をするのがとても楽しくなりました。

これからは、受験に集中して自分の志望する高校に行き野球を続け、このとなみ野ベースボールクラブで学んだたくさんのお話を活かしていき、教えてくださったコーチの皆さんや、毎回、送り迎えをしてくれたり、弁当を作ってくれたりした家族にも感謝して野球をしていきたいと思っています。

短い間でしたが、ありがとうございました。

## ステップアップ

井波中学校 3年 岩崎 開登

となみ野ベースボールクラブに入ってこれまでにはできなかったよい経験ができました。まず、これまで対戦してきた様々なチームの相手と今度は仲間としてチームを組めたことは大きな刺激でした。みんなのいいところを取り入れて自分の技術もアップしました。さらにこのチームでキャプテンになったことで、仲間との絆が深まり、プレーでも少しずつ仲間を引っばっていけるようになりました。起立の姿勢や返事をするなど、日常生活にもつながる基本を見直す機会にもなりました。

試合中も、信頼できる仲間と楽しく高め合いながらプレーできました。技術面では、コーチのアドバイスを参考にして、より理想的なプレーに近づけることができました。また、試合中に気になるところや課題を意識し、それを改善しながらプレーできることが増え、自分で考えて、改善していく力を身に付けることができました。公式戦では、富山のいろいろなチームと戦うことができ、高いレベルを味わうことができよかったです。

このクラブでは、軟式野球の時よりも高いレベルで野球ができ、より野球が好きになりました。今後の野球人生では、このクラブで学んだことを大切に、さらに上のレベルで野球ができるようにしていきたいです。

## 硬式野球

井波中学校 3年 前田 平慈

僕は、となみ野ベースボールクラブに中学1年生の冬から入っていました。他の人より少し早くから硬式の野球をしていました。その頃は、野球が下手くそだったけどコーチの方々が、熱心に僕達の指導をしてくださったおかげで野球が上手くなれました。

中学3年生になって、いままで敵だった人達が仲間になり、練習や試合をして、とても楽しい仲間と野球ができました。みんな優しく面白くてとてもいい仲間でした。そのおかげで僕も、一生懸命野球ができました。

となみ野ベースボールクラブに入って、試合でも活躍できるようになってきて、とても楽しかったです。12月からもとなみ野ベースボールクラブで野球をしたいと思っています。そして、高校に行っても野球を続けようと思っています。でも、まだまだ足りないところは、いっぱいあるので、これからもたくさん努力をして上手くなりたいです。

高校ではいままでよりもっと活躍できるようになりたいです。そして、いままでお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れることなく、これからも野球を続けていきたいです。

## となみ野ベースボールクラブに入って

井波中学校 3年 井上 幹太

僕が、このクラブに入って感じたことは、小学校の時から中学校まで少ない人数だったので、試合に出ているのが当たり前で、試合は、「楽しい」といったイメージがありました。しかしクラブでは、人がたくさんいてポジションを争いながら練習し、試合に出たり出られなかったりして、出られなかった時は、今まで経験してこなかったような辛さもありました。

自分は、主にショートで試合に出させてもらい、いろいろな経験をしました。最初は少し怖くて引いていた部分もあったけど、コーチの方々に教えてもらい、自分で少しは上手くなったと思えるようになりました。

公式戦までの練習試合では、無敗で少し調子にのっていた自分がいました。しかし、いざ公式戦に

なると普段の練習で感じられない雰囲気があり、「ミスってしまったら…」や「打てなかったら…」と思い、本来の自分の力を出せずに終わることもありました。結果、勝ちもありましたが、負けの方が多く決勝までいけずに終わりました。決勝トーナメントには残れなかったけど、中学校の部活ではできなかったどんな場面でもみんなで声をかけ合い、楽しみながら試合ができたのは良かったです。また、自分は選抜の舞台でもやらせてもらい、高いレベルの中でとてもいい経験をさせてもらいました。

今後は、勉強をしながら野球の練習も続け、基礎をしっかり準備して、高校に行ったら1年生から使ってもらえるような選手を目指し、これからの時間を大事にしていきたいです。

## 硬式野球の難しさ

井波中学校 3年 岩元 春希

僕は、今までよりもレベルの高い野球をしてみたかったので、このクラブに参加しました。難しい事ばかりでした。

まず、走塁です。参加当初の練習では、走塁の練習が多くありました。それぞれのケースでどのように動けばいいのかをチームで徹底的に練習しました。今まで知らなかったことを指導者にたくさん教えてもらいました。走塁は、とても難しく（硬式）野球の難しさを改めて痛感しました。

打撃では、今までと違う動きをするボールに対応するのがとても難しかったです。また、癖もなかなか直らず苦労しました。バットの芯にボールが当たらなければいい打球は、生まれません。打撃は、今までの軟式野球とは、全くと言っていいほど、感覚が違いました。

守備は、外野でした。走りながらフライを取るの、ボールが揺れて見えるので、難しく、怖かったです。また、今までと違うボールを扱うので変な感覚でした。更にみんなより肩が弱く、コントロールも悪いので、とても苦労しました。みんなに迷惑をかけたくなかったので、部活動の時より丁寧にプレーすることを心がけました。すると、ボールにも慣れていきました。守備は初めより明らかに上達しました。

今回参加して硬式野球の基礎が学べました。難しい事もありましたが、楽しかったです。ありがとうございました。

## となみ野ベースボールクラブに所属して

中田中学校 3年 長森 裕貴

僕は、となみ野ベースボールクラブに所属して、野球の技術だけでなく礼儀などを学びました。

技術に関しては、はじめはゴロの捕球の形やバッティングの構えやバットの出し方など基本的なことから学びました。マシンバッティングやシートバッティング、試合を重ねていくうちに守備面、打撃面、走塁面それぞれで自分たちだけでは気づかないようなことを教わり、特にバッティングは次の試合や打席で教わったことを意識してヒットを打てるとても自信になり、うれしくなりました。

礼儀に関しては、中学校の野球部でも道具を大切にすることや教わったことはノートにとること、挨拶をすること、声を出すことなどは習っていましたが、同じ中学校の人がいなかったことや初めて見る人ばかりで初めはなかなか打ち解けることができず、声を出したりするのが部活でやっていた時より少なくなってしまうと思います。でも、少しずつ慣れていき、礼儀などもできるようになりました。

また、短い時間でしたが、新しい仲間とプレイできたことや共に過ごした時間が楽しかったです。これらの経験をこれからの生活や高校で野球をする際に生かしていきたいと思います。

## となみ野ベースボールクラブに参加して

出中学校 3年 竹内 虎之介

僕は、小学2年生からずっと野球をしてきました。小学校の時に一緒に野球をしていた仲間は、みんな違う部活に入り野球部の同級生が少なく、とても寂しい思いをしました。

となみ野ベースボールクラブに入り、最初は緊張したけどすぐにうまく打ち解け、友達もたくさん出来て楽しかったです。

指導者の方々は本当に優しく、面白く、教え方が上手くてとてもわかりやすかったです。

公式戦では、ずっと試合に出させてもらい、ミスをして怒るところか、失敗してもいいから思いっきりやれ！って僕たちを信用して応援してくださったおかげで、おもいっきり楽しくプレイをする事ができました。

残念ながら決勝リーグには行けなかったけど、今、一緒に野球をした仲間とは一生付き合っていく友達になるだろうし、今回、友達と野球が出来たのは一生の思い出になると思います。なので、となみ野ベースボールクラブに参加して本当によかったなあ～と思いました。

高校に行っても今回教えていただいた事を活かして活躍出来るように日々努力し続けたいと思います。

今まで指導していただき、監督、コーチの方々に感謝しています。

約4ヶ月間ありがとうございました。

## 高校野球に向けて

戸出中学校 3年 河端 拓音

となみ野ベースボールクラブに入って変わった事や、学べたことがたくさんありました。

県民体育大会で負けた次の日から福野高校であった練習に参加しました。初日から熱い中、小学校以来の一日練習に体がついていけず、一日目から気持ち悪くなりダウンしてしまいました。

初めは毎週こんな練習が続くと思うと辛かったけど、みんなと楽しく話せるようになって、練習に慣れてくると、毎週の練習が楽しくなってきました。

一番変わったと思うことは、練習の環境です。中学校には無かったマシンや硬式のボールを使った練習など、慣れなくても、うまくなれるように、練習をより一生懸命頑張ることができました。

これまで野球をやってきた6年間で、不運な形でケガをすることが多かったのが、今回もケガをするのかなと思っていたら、9月22日のヤンキース戦でプレーとは関係ないところで今までで一番大きいケガをし、人生初の救急車に乗ることになりました。

このケガで野球は楽しいスポーツである一方、危険な事もあり、休憩の時でも気を抜いてはいけないと改めて思いました。

このとなみ野ベースボールクラブでは、優しく時に厳しいコーチ方にたくさんのことを教えて頂き、個性の強いチームメイトと、楽しく野球をすることができました。

この4ヶ月で学んだことは絶対今後生きてくると思います。

このとなみ野ベースボールクラブで学んだことを忘れず、高校でも野球を続けてレギュラーになり、活躍できるように頑張ります。